

# キルギス語の補助動詞 *tašta-* 「捨てる」 についての考察\*

## A Study of the Kyrgyz Auxiliary Verb *tašta-* ‘to throw away’

アクマタリエワ ジャクシルク

AKMATALIEVA Jakshylyk

This paper examines the usage and meanings of the Kyrgyz auxiliary verb *tašta-* ‘to throw away’, showing that *tašta-* can only be combined with verbs that have certain characteristics. Moreover, in the *-I(p) tašta-* and *-A/-y tašta-* forms, *tašta-* almost always follows a volitional verb whose meaning includes an action causing an irreversible change in the object, such as ‘kill, cut, split, destroy, annihilate, blow’. Contrariwise, in the *-A/-y tašta-* form, *tašta-* rarely appears immediately after a lexical verb, instead mostly appearing in the double auxiliary verb construction, “V<sub>1</sub> AUX<sub>1</sub> AUX<sub>2</sub>.” The auxiliary verbs appearing as AUX<sub>1</sub> show certain tendencies. Only seven auxiliary verbs appear as AUX<sub>1</sub>: *koy-* ‘to put’, *al-* ‘to take’, *jiber-* ‘to send’, *iy-* ‘to bend’, *sal-* ‘to put’, *kal-* ‘to remain’, and *ket-* ‘to leave’. However, whereas the lexical verbs that appear with double auxiliary verbs where AUX<sub>1</sub> is *koy-* ‘to put’, *al-* ‘to take’, *jiber-* ‘to send’, *iy-* ‘to bend’, or *sal-* ‘to put’ are transitive, when AUX<sub>1</sub> is *kal-* ‘to remain’ or *ket-* ‘to leave’, the preceding lexical verbs are intransitive.

キーワード： チュルク諸語、キルギス語、補助動詞、文法的な意味

Keywords: Turkic, Kyrgyz, Auxiliary verb, Grammatical meaning

### 0. はじめに

本稿では、キルギス語の補助動詞 *tašta-* の意味を中心に考察を行う。補助動詞としての *tašta-* の意味を考察するにあたり、まず、語彙動詞としての意味をみておく。

---

\* 本研究は、JSPS 科研費（研究課題：21J40129、21H04346）及び東京外国語大学 AA 研の共同研究課題「チュルク諸語における情報構造と知識管理—音韻・形態統語・意味のインターフェイス—」による成果の一部である。本稿の内容の一部は、2017 年度ユーラシア言語研究コンソーシアム年次総会（2018/3/29・京都大学ユーラシア文化研究センター）での発表内容に加筆、修正を加え、執筆したものである。コメントをくださったすべての方々に感謝申し上げます。

- (1) *Kitep-ti jër-ge tašta-p sal-ba-y,*  
本-ACC 土-DAT 捨てる-CVB 入れる-NEG-CVB  
*üstöl-dün üst-ü-nö koy, bala-m.* (Akmataliev 2011: 468)  
机-GEN 上-POSS.3-DAT 置く 子供-POSS.1SG  
「本を床に捨てるでしまわないで、机の上に置きなさい、息子よ。」

- (2) *arak-ti tašta* (Yudahin 1965: 217)  
酒-ACC 捨てる  
「酒をやめる」

- (3) *tameki-ni tašta* (Yudahin 1965: 217)  
タバコ-ACC 捨てる  
「タバコをやめる」

上にあげた例文から分かる通り、*tašta-* の語彙動詞としての意味は (1) のように手にとって遠くへ放り出す、投げる、捨てることを表す。また (2) や (3) のように、これまで続けてきたことを途中でやめること、放棄することを表す。

このような *tašta-* は補助動詞としても用いられる。その場合は、動詞の副動詞形に後続する形、すなわち「動詞-副動詞接尾辞 *tašta-* 」という形で用いられる。キルギス語には、このような形で用いられる補助動詞が数多くあり、*tašta-* もその一つである。*tašta-* には① *-A/-y* の形式による共起副動詞形に後続する場合と、② *-I(p)* の形式による継起副動詞形に後続して現れる場合とがある。以下、先行する動詞の副動詞形の種類に分けて、考察する。

## 1. 先行研究

従来の研究において *tašta-* が補助動詞として使用されることは既に指摘されている。Kudaybergenov (1987: 228) は、*-I(p)* 副動詞形に後続する *tašta-* について “В семантику сложного глагола эта форма вносит значение категорической законченности действия ” 「複雑動詞の意味において、この形式は動作のカテゴリカルな完全性の意味を表す」と述べている。

一方、*-A/-y* 共起副動詞形に後続する *tašta-* について Форма *-a/-y+mauma* не используется без дополнительного компонента, который в этой деепричастной форме стоит после смыслового глагола. Такое трехкомпонентное сложение передает значение начатого и незаконченного действия 「*-a/-y tašta-* の形式は、語彙動詞の後にくる追加成分なしでは使

われない。この3要素連続は、動作の始まりとその動作の未完了の意味を表す」と述べて、次の例文をあげている（Kudaybergenov 1987: 228）。

- (4) *Al ket-ip kal-a tašta-dī.*  
 彼 去る-CVB 残る-CVB 捨てる-PST.3  
 「彼は帰ってしまいそうだった。」

Yudahin (1965)、Kudaybergenov (1987) は、*tašta-* の基本的な文法的な意味について指摘している。しかしながら、いずれの先行研究でも *tašta-* について典型的な例文があげられるのみで、ごく簡単な記述にとどまっていると思われる。このようなことから、本稿では実例を元に *tašta-* が表す意味用法について再検討する。

## 2. 調査方法

本研究では、キルギス語で書かれた小説や新聞、そして、インターネット検索（2022年5月1日～2022年7月7日）により、用例を収集し、調査を行った。

本稿で引用するすべての例文の翻訳、ラテン文字転写、例文番号、グロス、文字飾り、図表は、特にことわりのない限り筆者によるものである。

## 3. 考察

この節では、*-I(p) tašta-* 形式 (3.1.) と *-A/-y tašta-* 形式 (3.2.) において、*tašta-* がどのような文法的な意味を表し、それらがどのような言語的な条件のもとで実現されるのかを検証してみる。

考察の際に、主動詞の種類のみならず、共起する副詞句や後置詞句などや形式などにも重点を置いて考察する。

### 3.1. *-I(p) tašta-* 形式の場合

ここでは *tašta-* に先行する動詞を意味的な特徴をもとにタイプ別に、紹介する。今回のデータで得られた語彙動詞はいずれも基本的に意志動詞である。意志動詞の中でも動作主体が対象に意図的に働きかけを行う意味を表す動詞が圧倒的に多い。それらの動詞を詳しくみると、殺害、切断、分割・分裂、破壊、消滅、打撃の意味を持つ動詞が大半を占める。これらの動詞の特徴を、以下、それぞれの例文をあげて示す。

#### 殺害の意味を表す動詞

*öltür-* は「殺す」という意味で使われる最も一般的な動詞であり、殺意の有無に関係な

く、人や動物の命を絶つことを意味する。補助動詞 *tašta-* は、今回のデータから *öltür-* 「殺す」以外にも数多くの動詞 *serp-* 「殺す」、*mert kil-* 「殺害する」、*muuzda-* 「首を切る＝殺す」、*čayna-* 「噛み殺す」、*čuba-* 「(胃腸を) 引っ張る＝殺す」など、いずれも殺害の意味を表す動詞に後続して出現している。

- (5) *Dagī bir jol-u kol-uñ tiy-se*  
 他 一回-POSS.3 手-POSS.2SG 触れる-COND.3  
*öltür-üp tašta-y-m de-be-di-m bele?*  
 殺す-CVB 捨てる-PRES-1SG 言う-NEG-PST-1SG Q  
 「もう一度お前の手が触れたら、殺してしまうと言わなかったかい？」

#### 切断の意味を表す動詞

*kij-* 「切る」、*bičakta-* 「ナイフで切る」、*kes-* 「切る」、*kiličta-* 「(刀で) 切る」、*kirk-* 「(ハサミで) 切る」、*til-* 「裁ち切る」などの「切断」の意味を表す動詞群に後続する例が多くみられる。つまり、これらは主に刃物などによって全体を分離・分断させる動作を表す動詞である。

- (6) *Köpčülük keskeldirik-ter öz kuyrug-u-n kes-ip tašta-y-t.*  
 多くの トカゲ-PL 自分 尻尾-POSS.3-ACC 切る-CVB 捨てる-PRES-3  
 「多くのトカゲは自分のしっぽを切ってしまう。」

#### 分裂・分散の意味を表す動詞

このグループに入る動詞は、*ayrı-* 「破る」、*ažirat-* 「分解する」、*böl-* 「裂く」、*jürt-* 「破る」、*čač-* 「散らかす」、*sıyrı-* 「剥がす」、*sındır-* 「割る、折る」、*tüt-* 「裂く」などの動詞であり、上記の切断の意味を表す動詞群に似ているが、一続きの物を無理に分裂・分散させる意味を表す動詞群である。こちらは刃物ではなく、力で分離するイメージが強い。

- (7) *Kiz-dī kačır-ip sal-a ber-iš-ti,*  
 女性-ACC 脅す-CVB 入れる-CVB 与える-RECIP-PST.3  
*kurtka-si-n ayrı-p tašta-š-ti.*  
 コート-POSS.3-ACC 引き裂く-CVB 捨てる-RECIP-PST.3  
 「(彼らは) 女性を脅しつつ、(女性の) コートを引き裂いてしまった。」

破壊の意味を表す動詞

*bas-*「つぶす」、*jalpayt-*「つぶす」、*janči-*「ぶつつぶす」、*jayla-*「叩きつぶす」、*jul-*「根絶する」、*kıyrattır-*「破壊する」、*kır-*「絶滅させる」、*talkala-*「砕く、滅ぼす」、*tebele-*「踏みつぶす」、*sor-*「吸い込む」、*maydala-*「粉々にする」、*čeč-*「解ける」などの動詞群に補助動詞 *tašta-* がしばしば後続する。ある対象にある行為を意識的に加え、形状を破壊したり、そのものの機能を失わせたりする動作を表す動詞である。

(8) *Bala čirkey čak-kan jer-di tirmag-i-nin*

子 蚊 刺す-PTCP 所-ACC 爪-POSS.3-GEN

*uč-u menen bas-ıp tašta-y-t.*

先-POSS.3 で 潰す-CVB 捨てる-PRES-3

「子供は蚊が刺した所を爪の先で潰してしまう。」

消滅・終了の意味を表す動詞

補助動詞 *tašta-* が後続する動詞として、存在している物事を意識的に無くす意味を表す動詞 *al-*「取る」、*aldır-*「取らせる」、*jok kil-*「無くす」、および、これまで続けてきたことを終わらせる動作を表す動詞 *büt-*「終える」、*bütür-*「終わらせる」、*jav-*「閉める」、*jaşır-*「隠す」、*kama-*「しまう」、*kus-*「吐く」、*köytör-*「ひっくり返す」、*suuru-*「引っ張る」、*çigar-*「引っ張り出す」、*tök-*「空ける」、*ërit-*「溶かす」などを一つのグループとしてまとめることができる。

このグループには、付着していた汚れを落とす意味を表す *juu-*「洗う（汚れを取る）」、*şipür-*「拭き取る」などの動詞も入れておく。

(9) *janji ële jürög-ü-nün asti-n-da jaşa-y başta-gan*

新しい ちょうど 心臓-POSS.3-GEN 下-POSS.3-LOC 生きる-CVB 始める-PTCP

*kiyinki perzent-i-n al-dır-ıp tašta-dī.*

後の 赤ん坊-POSS.3-ACC 取る-CAUS-CVB 捨てる-PST.3

「(彼女は) 新しく心臓 (おなか) の下に宿り始めた次の命を摘み取ってしまった。」

また、次の例文の場合、*unut-*「忘れる（記憶を無くす）」は主体の「忘れてしまいたくなる」という意志を表す文である。つまり、*unut-*「忘れる」は意志動詞として働いている。例えば、無意識的に「財布を忘れてしまった」場合の *unut-*「忘れる」に *tašta-* は後続しない。

- (10) *düynö-dö bardik tüyşük-tü unut-up tašta-gi-si kel-ip ket-ti.*  
 世界-LOC 全て 苦勞-ACC 忘れる-CVB 捨てる-VN-POSS.3 来る-CVB 行く-PST.3  
 「この世での全ての苦勞を忘れてしまいたくなった。」

### 打撃の意味を表す動詞

*bir sal-* 「一発打つ」、*jiga koy-* 「横に倒す」、*sök-* 「罵る」、*ur-* 「叩く」、*čap-* 「引っぱたく」、*tep-* 「蹴る」、*irgüt-* 「投げる」などのような、動作主がある対象に向けて、力や暴力（口頭も含む）を加えるような動詞群にも補助動詞 *tašta-* が後続する。

- (11) *Čal ačuu-su kel-ip ėmne saga kereg-i jok-pu,*  
 爺 怒り-POSS.3 来る-CVB 何 君.DAT 必要-POSS.3 無-Q  
*anda balta menen čaa-p tašta-y-m.*  
 それ.LOC 金槌 で 叩く-CVB 捨てる-PRES-1SG  
 「お爺さんは怒りだして、「君には何も必要ないのか、それなら金槌で叩いちゃうよ。」

また、人の心理的な状態を引き起こす動作を表す *uyat kil-* 「恥ずかしくさせる」という動詞に後続して現れるものが1例あった。これも「打撃」のグループに加えておく。

- (12) *mına ėmi, öz-ü-n ėle ėmes,*  
 ほら 今 自分-POSS.3-ACC だけ NEG  
*ayal-ė-n koš-o uyat kil-ip tašta-dė.*  
 妻-POSS.3-ACC 含む-CVB 恥 する-CVB 捨てる-PST.3  
 「ほら、今度、(彼は) 自分だけではなく、奥さんも含め恥ずかしくさせてしまった。」

ここでの「恥ずかしくさせる」というのは、相手に心理的なダメージを与えた、相手を心理的に破壊したという意味で使われているので *tašta-* が使用されるのではないかと考える。

ここまで見てきた動詞類の特徴をまとめると、「殺す、切る、破壊する、消滅する」などのように、動作主体が動作対象へ働きかけ、その結果、対象に回復不能な変化を及ぼす動作を表す動詞が大半である。このような動詞群の場合、ある動作が完全に終了したことを表すのに補助動詞の *tašta-* が最も使われやすいと言える。

大崎・シャミシエワ (2018) では、補助動詞 *kal-* について「*öltür-* 「殺す」、*öltürül-* 「殺される」、*sindir-* 「割る、折る」、*kıyrat-* 「破壊する」、*talkala-* 「砕く」、*erit-* 「溶かす」

など、動作主体や動作対象の形状や状態に回復不能な変化を及ぼす行為を表す意志動詞と結びつかない」と記述されている。一方で、本稿考察対象の *tašta-* はこれらの動詞とむしろ積極的にむすびつくとと言える。しかし、*kal-* と *tašta-* が補助動詞として補完的な関係にあると言えるのか、さらには、「動作の完了」を表す他のキルギス語の補助動詞 *koy-* 「置く」、*sal-* 「入れる」、*jiber-* 「送る」、*iy-* 「曲げる」、*čik-* 「出る」、*büt-* 「終わる」などが、いったいどのような関係にあるか、いわゆる補完関係にあるとすれば、どのようなものであるかを究明する必要がある、今後の課題として残る。

なお、補助動詞 *tašta-* が後続する動詞には、上記の類の動詞と異なる動詞も現れた。例えば次のものである。

### 手の動きを表す動詞

*kötör-* 「上げる」、*tür-* 「まくり上げる」、*silki-* 「はらう、揺らす」、*silte-* 「手をはらう」、*bayla-* 「結ぶ」、*sür-* 「(手で) 動かす」、*koy-* 「置く」、などのように人間の手の動きを表す動詞類である。この類の場合、*tašta-* は人間の身体部位である「手」と共起して現れることが特徴的である。*tašta-* の本来の意味から考えてみると、「手を下におろす、投げる」という意味と深くかかわっているのではないかと思われる。もしそうならば、ここでは *tašta-* の本来の意味がある程度、生きていると考える。

(13) *ėki kol-u-n ildiy silk-ip silk-ip tašta-dī.*

二 手-POSS.3-ACC 下 振る-CVB 振る-CVB 捨てる-PST.3

「(彼は) 両手を下に向けて振った (下に手を揺らす動作)。」

以上、今回の調査の結果から得られた *-I(p) tašta-* 形式に出現する例を見てきたが、語彙動詞に現れるのはいずれも意志動詞であった。いわゆる非意志動詞は出現しないように思われるが、しかしながら、アクマタリエワ (2022) によると、自然現象を表す動詞 *jaa-* 「降る」に補助動詞 *tašta-* 「捨てる」が後続でき通常とは異なる珍しいケースの場合に用いられる。そして、主体は「雪」に限り、さらに文中には *kütülbögön* 「突然」、*kalij* 「重く」、*22 sm* 「22センチ」などのように稀であることを表す副詞相当句が使用されるとしている。

(14) *Alaykuu öröön-ü-ndö kar abdan ěle kalij jaa-p tašta-dī.*

PN 地方-POSS.3-LOC 雪 とても PART 重い 降る-CVB 捨てる-PST.3

「アライクー地方では雪がとても重く降ってしまった。」

もっぱら意志動詞に後続するはずの補助動詞 *tašta-* が、なぜ非意志動詞の *jaa-* 「降る」に後続できるのだろうか。確かに *kar* 「雪」は無情物であるが、氷の結晶がそのまま空から地面に目に見える形で落ちてくる物体である。ここでは、*kar* 「雪」を形のある生き物に見立てて表現した、いわゆる擬人化したものではないだろうか。とくに、*kar* 「雪」が降って、何らかの好ましくない事態（大雪で被害が多発するなど）を引き起こしていることが、*tašta-* 「捨てる」の使用につながっている可能性がある。

### 3.2. -A/-y *tašta-*形式の場合

Kudaybergenov (1987: 228) は次の例文をあげ、-A/-y *tašta-* 形式の場合、追加成分が必要であり、*tašta-* のみでは成立しないとしているが、それ以上の記述はない。

(15) *Al ket-ip kal-a tašta-dī.* ( (4) を再掲)

彼 去る-CVB 残る-CVB 捨てる-PST.3

「彼は帰ってしまいそうだった。」

本調査の結果、*tašta-* が -A/-y 形式の語彙動詞の直後に現れる例は 1 例しかなかった。その 1 例は、キルギスの英雄叙事詩『マナス』のテキストに現れる次の例である。ちなみに、『マナス』のテキストはおよそ 100 年遡る資料である。この 1 例だけでは結論できないが、100 年ほど前のキルギス語と現代キルギス語とでは *tašta-* の使用に変化があったのかどうかを調査する必要がある。

(16) *Manas baš-ka koy-gon-do*

マナス 頭-DAT 置く-PTCP-LOC

*Baš-ī üzül-ö tašta-dī.*

頭-POSS.3 取れる-CVB 捨てる-PST.3

「マナスは頭を叩いたら、彼の頭が取れてしまいそうだった。」

(16) 以外の例文は、いずれも二重補助動詞構文によるものである。例えば、(15) の例を借りて説明すると、次のような構造で現れている。

V <sub>1</sub>	AUX <sub>1</sub>	AUX <sub>2</sub>
<i>ket-ip</i>	<i>kal-a</i>	<i>tašta-</i>

ただし、AUX<sub>1</sub> に現れる補助動詞を観察してみると、一定の傾向があることが浮かび上が



った。本調査の結果、AUX<sub>1</sub>に現れる補助動詞は、*koy-*「置く」、*al-*「取る」、*jiber-*「送る」、*iy-*「曲げる」、*sal-*「入れる」、*kal-*「残る」、*ket-*「去る」の7個の補助動詞であることが分かった。いずれの補助動詞と共起して現れた場合でも、*tašta-*の意味は日本語の「もう少しで～しそうになる」という意味を表す。つまり、実際にはそうならなかったことを意味する。以下、それぞれについて具体的に説明していく。

[V1 *koy-o tašta-*]

この形式の場合、語彙動詞は基本的に意志動詞に限る。例えば、*je-*「食べる」、*öltür-*「殺す、死なせる」、*sindir-*「割る、壊す」、*çap-*「引っぱたく」、*at-*「打つ」、などのような他動詞である。特に、これらの用例をみると、良くない、好ましくない事態を回避したことを表し、文中に *az jer-den* 「もう少しで」などの副詞相当句が現れる。

- (17) *az jer-den kol-um-u sindir-ip koy-o tašta-dî.*  
 少し 所-ABL 手-POSS.1SG-ACC 折る-CVB 置く-CVB 捨てる-PST.3  
 「もう少しで私の手を折ってしまいそうでした。」

- (18) *az jer-den bala-m-dî öltür-üp koy-o tašta-dî.*  
 少し 所-ABL 子供-POSS.1SG-ACC 殺す-CVB 置く-CVB 捨てる-PST.3  
 「もう少しで私の子供を殺してしまいそうでした。」

[V1 *al-a tašta-*]

この形式の語彙動詞は主に意志動詞である。例えば、*sindir-*「割る、壊す」、*say-*「刺す」、*kes-*「切る」、*jul-*「摘む」、*çak-*「刺す」、*tök-*「零す」、*jogot-*「無くす」、などの他動詞がくる。これらの動詞を見ると、相手にもう少しで(危うく)しそうなったということを表す。

- (19) *Nurak çoç-up ket-ip kol-u-n kes-ip al-a tašta-dî.*  
 PSN 驚く-CVB 去る-CVB 手-POSS.3-ACC 切る-CVB 取る-CVB 捨てる-PST.3  
 「ヌラクは驚いてしまって、彼の手を切ってしまいそうでした。」

- (20) *Uluttuk döölöt-tör-ü-n jogot-up al-a tašta-dî.*  
 国民の 財産-PL-POSS.3-ACC 無くす-CVB 取る-CVB 捨てる-PST.3  
 「国民の財産を失ってしまいそうになった。」

[V1 *jiber-e tašta-*]

この形式の場合も、語彙動詞は基本的に意志動詞に限る。例えば、*sok-* 「叩く」、*öp-* 「キスする」、*kiykir-* 「叫ぶ」、*iyła-* 「泣く」、*almaštir-* 「交換する」のような動詞が現れる。

- (21) *meni kuçakta-p öö-p jiber-e tašta-dī.*  
私.ACC 抱く-CVB キスする-CVB 送る-CVB 捨てる-PST.3  
「私を抱いてキスしてしまいそうでした。」

- (22) *Köz-dör-ü-n balbüdat-kan Sedep iyła-p jiber-e tašta-dī.*  
目-PL-POSS.3-ACC 光る-PTCP PSN 泣く-CVB 送る-CVB 捨てる-PST.3  
「目を光らせたセデップは泣いてしまいそうでした。」

[V1 *iy-e tašta-*]

この形式の場合においても、語彙動詞は基本的に意志動詞に限る。例えば、*kir-* 「入る」、*sor-* 「吸う」、*čič-* 「大便する」、*aldir-* 「持たせる」、*jut-* 「飲み込む」のような動詞が現れる。

- (23) *jut-up iy-e tašta-dī.*  
飲み込む-CVB 曲げる-CVB 捨てる-PST.3  
「飲み込んでしまいそうでした。」

- (24) *ač köz-dör-gö aldir-ip iy-e tašta-dī.*  
嫉妬深い者-PL-DAT 取る-CAUS-CVB 曲げる-CVB 捨てる-PST.3  
「嫉妬深い者に取られてしまいそうでした。」

[V1 *sal-a tašta-*]

この形式の場合も、語彙動詞は基本的に意志動詞に限る。例えば、*je-* 「食べる」、*öltür-* 「殺す、死なせる」、*sindir-* 「割る、壊す」、*čap-* 「引っぱたく」、*at-* 「打つ」のような他動詞が現れる。

- (25) *az jer-den özüñ-özü at-ip sal-a tašta-dī.*  
少し 所-ABL 自分自身-ACC 打つ-CVB 入れる-CVB 捨てる-PST.3  
「もう少しで自分自身を打ってしまいそうでした。」

- (26) *Ak ilbirs kamera-ni je-p sal-a tašta-di.*  
 ユキヒョウ カメラ-ACC 食べる-CVB 入れる-CVB 捨てる-PST.3  
 「ユキヒョウはカメラを食べてしまいそうでした。」

[V1 kal-a tašta-]

この形式の場合は、これまで述べた形式と異なり、語彙動詞は基本的に非意志動詞に限ることが調査の結果から明らかになった。例えば、*öl-*「死ぬ」、*süzüs-*「衝突する」、*jindi bol-*「狂う」、*ayril-*「別れる」、*kaka-*「むせる」、*tiy-*「ぶつかる」、*unut-*「忘れる」、などのような動詞がくる。この場合、動作主の意志ではコントロールできない現象が起こる寸前まで行ったことが表される。

- (27) *Kaygi muş-dan saal jer-den jindi bol-up kal-a tašta-di.*  
 悲しみ-ABL 少し 所-ABL 狂者 なる-CVB 残る-CVB 捨てる-PST.3  
 「悲しみのあまりもう少しで狂者になってしまいそうでした。」

- (28) *boor-u ezil-ip, öl-üp kal-a tašta-di.*  
 肝臓-POSS.3 解ける-CVB 死ぬ-CVB 残る-CVB 捨てる-PST.3  
 「肝臓が解けて（大笑いをして）、死んでしまいそうでした。」

[V1 ket-e tašta-]

この形式の場合、上記の *V1 kal-a tašta-* 形式と同様に、語彙動詞は主に非意志動詞に限ると言える。この形式の場合も動作主の意志ではコントロールできない現象が起こる直前まで行ったことを示す。いずれも好ましくない事態だと考えられる。例えば、*öl-*「死ぬ」、*ürk-*「怯む」、*ahtaril-*「でんぐり返る」、*süz-*「ぶつかる」、*jok bol-*「無くなる」、*buzul-*「腐る」、*kiril-*「絶滅する」、などのような自動詞がくる。

- (29) *Meni da süz-üp ket-e tašta-di.*  
 私.ACC も 跳ねる-CVB 去る-CVB 捨てる-PST.3  
 「私の事も跳ねてしまいそうでした。」

- (30) *jer-ge kir-ip ket-e tašta-di.*  
 土-DAT 入る-CVB 去る-CVB 捨てる-PST.3  
 「土に入ってしまうそうでした。」

本節で列挙した *-A/-y* 形式の一つ目の補助動詞に後続する二つ目の補助動詞としての *tašta-* の例を整理してまとめると表 1 のようになる。

表 1 [V<sub>1</sub> AUX<sub>1</sub>-A/-y *tašta-*] のまとめ

V <sub>1</sub> に出現する語彙動詞とその具体例	AUX <sub>1</sub> - CVB AUX <sub>2</sub>
他動詞: <i>jogot-</i> 「無くす」、 <i>sindir-</i> 「割る、壊す」、 <i>say-</i> 「刺す」、 <i>kes-</i> 「切る」、 <i>jul-</i> 「摘む」、 <i>čak-</i> 「刺す」、 <i>tok-</i> 「零す」	<i>al-a tašta-</i>
他動詞: <i>jok kil-</i> 「無くす」、 <i>öltür-</i> 「殺す、死なせる」、 <i>bombala-</i> 「爆弾を落とす」、 <i>je-</i> 「食べる」、 <i>jogot-</i> 「無くす」、 <i>tarttip al-</i> 「奪う」、 <i>sindir-</i> 「割る」	<i>koy-o tašta-</i>
他動詞: <i>sok-</i> 「叩く」、 <i>öp-</i> 「キスする」、 <i>kiykir-</i> 「叫ぶ」、 <i>iy-la-</i> 「泣く」、 <i>almaštir-</i> 「交換する」	<i>jiber-e tašta-</i>
他動詞: <i>kir-</i> 「入る」、 <i>sor-</i> 「吸う」、 <i>čič-</i> 「大便する」、 <i>aldir-</i> 「持たせる」、 <i>jut-</i> 「飲み込む」	<i>iy-e tašta-</i>
他動詞: <i>je-</i> 「食べる」、 <i>öltür-</i> 「殺す、死なせる」、 <i>sindir-</i> 「割る、壊す」、 <i>čap-</i> 「引っぱたく」、 <i>at-</i> 「打つ」	<i>sal-a tašta-</i>
自動詞: <i>öl-</i> 「死ぬ」、 <i>süzüş-</i> 「衝突する」、 <i>jindi bol-</i> 「狂う」、 <i>ayril-</i> 「別れる」、 <i>kaka-</i> 「むせる」、 <i>tiy-</i> 「ぶつかる」、 <i>unut-</i> 「忘れる」	<i>kal-a tašta-</i>
自動詞: <i>öl-</i> 「死ぬ」、 <i>ürk-</i> 「怯む」、 <i>añtaril-</i> 「ひっくり返る」、 <i>süz-</i> 「ぶつかる」、 <i>jok bol-</i> 「無くなる」、 <i>buzul-</i> 「腐る」、 <i>kiril-</i> 「絶滅する」	<i>ket-e tašta-</i>

#### 4. おわりに

今回の調査から *tašta-* は一定の特徴をもった動詞としか組み合わせられないという制限がかかることが明らかになった。そして、*-I(p) tašta-* 形式と *-A/-y tašta-* 形式の場合、*tašta-* が表す文法的な意味が全く異なることも確認できた。

まず、*-I(p) tašta-* 形式の場合、意志動詞であり、かつ、動作主体が動作対象への回復不能な変化を及ぼす意味の意志動詞と *tašta-* が組み合わせることが圧倒的に多い。具体的には「殺害、切断、分割、破壊、消滅、打撃」などの意味を表す動詞である。

一方の *-A/-y tašta-* 形式の場合、*tašta-* は語彙動詞の直後に現れることは稀で、出現した例文のほとんどは二重補助動詞構文「V<sub>1</sub> AUX<sub>1</sub> AUX<sub>2</sub>」によって現れることが確認できた。さらに、AUX<sub>1</sub> に現れる補助動詞を観察してみると、一定の傾向があることが明確になった。AUX<sub>1</sub> に現れる補助動詞は、*koy-* 「置く」、*al-* 「取る」、*jiber-* 「送る」、*iy-* 「曲げる」、*sal-* 「入

れる」、*kal-*「残る」、*ket-*「去る」の7個の補助動詞であった。また、二重補助動詞の一つ目の補助動詞に注目してみると、*koy-*「置く」、*al-*「取る」、*jiber-*「送る」、*iy-*「曲げる」、*sal-*「入れる」の場合、語彙動詞には他動詞が現れることが分かった。なお、*kal-*「残る」、*ket-*「去る」が一つ目の補助動詞である場合、語彙動詞には自動詞が主に現れることが分かった。

## 略号

ABL = ablative, ACC = accusative, CVB = converb, COND = condition, GEN = genitive, DAT = dative, IMP = imperative, LOC = locative, NEG = negative, MOD = modality, PASS = passive, PART = particle, PL = plural, PN = proper noun, POSS = possessive, PRES = present, PST = past, PTCP = participle, RECIP = reciprocal/cooperative, Q = question, SG = singular, 1/2/3 first/second/third person

## 参考文献

- アクマタリエワ ジャクシルク (2018) 「キルギス語の補助動詞 *tašta-* についての予備的考察 —先行する動詞の意味的な特徴を中心に—」2017 年度ユーラシア言語研究コンソーシアム年次総会発表資料。
- アクマタリエワ ジャクシルク (2022) 「自然現象を表す動詞 *jaa-*「降る」に後続する補助動詞 —キルギス語の副動詞 *-I(p)*形式を例に—」日本北方言語学会第5回大会 (2022年11月26日、静岡大学+オンライン開催)
- 大崎紀子・シャミシエワ ナズグリ (2018) 「キルギス語の補助動詞 *kal-*の意味と本質—アスペクトと共起制限をめぐる二つの疑問から—」、林徹ほか (編) *Diversity and Dynamics of Eurasian Languages: The 20th Commemorative Volume*, Contribution to the Studies of Eurasian Languages (CSEL) Series 20, The Consortium for the Studies of Eurasian Languages, pp.345-362.
- Akmataliyev, Abdildažan et al. (2011) *Kirgiz Tilinin Sözdügü*. Biškek: Avrasya Press.
- Kudaybergenov, Sarıbay. (1987) Kategoriya zaloga. In Zaxarova, O.V. (ed.), *Grammatika kirgizskogo literaturnogo yazıka 1: Fonetika i morfologiya*, 238-253. Frunze: Ilim.
- Yudahin, Konstantin Kuz'mič. (1965) *Kirgizsko-Russkiy slovar'*. Moskva: Izdatel'stvo Sovetskaya enciklopediya.